

# 令和5年度 第1回浜松市医療的ケア児等支援協議会

日時：令和5年7月26日（水）

午後2時から

会場：浜松市口腔保健医療センター会議室A・B

ZOOMID：829 0956 1290

パスコード：hama0726

## 次 第

### 1. 開会

### 2. 議題

(1) 医療的ケア児等支援コーディネーター活動実績報告 資料1

(2) 医療的ケア児等情報提供同意者数について 資料2

(3) 令和4年度実施医療的ケア児を持つ保護者への意見を伺う会報告 資料3

(4) 医療的ケア児等災害ワーキング中間報告 資料4

(5) その他

・令和5年度医療的ケア児等支援者養成研修について 資料5

### 3. 閉会

## 浜松市医療的ケア児等支援協議会 委員名簿

### 外部委員

(敬称略)

所 属		氏 名	備 考
	浜松医科大学	福田 冬季子	
	聖隷クリストファー大学	宮谷 恵	
会長	浜松市発達医療総合福祉センター はままつ友愛のさと	遠藤 雄策	
	聖隷福祉事業団 聖隷こども家庭総合支援センター	大木 茂	
	浜松市訪問看護ステーション連絡協議会	尾田 優美子	
	介護医療院有玉病院	岡崎 貴宏	欠席
	県立西部特別支援学校	飯塚 昌夫	
	総合病院 聖隷三方原病院 聖隷おおぞら療育センター	沖村 宏美	
	浜松地区肢体不自由児親の会	里 あゆ子	
	在宅医療ケアのある子を持つ親の会	清水 恵美	
	指定障害児相談支援事業所くすのき	古橋 清史	

### 庁内委員

所 属		氏 名	備 考
	浜松市中障がい者相談支援センター	藤川 晴海	
副会長	浜松市障がい者基幹相談支援センター	雨宮 寛	
	学校教育部 教育支援課	南瀬 悦司	
	健康福祉部 健康増進課	岡田 佳子	
	こども家庭部 幼児教育・保育課	井川 宜彦	
	こども家庭部 子育て支援課	小山 東男	
	健康福祉部 健康医療課	西崎 公康	

### 事務局

課 名	氏 名	備 考
浜松市社会福祉事業団	阿部 祥美	
	尾関 ゆかり	
	宮司 登志江	
健康福祉部 障害保健福祉課	久保田 尚宏	
	金原 正剛	
	柴田 多美子	
	中谷 麻由実	

# 浜松市医療的ケア児等コーディネーター 令和4年度活動報告

令和5年7月26日(水)医療的ケア児等支援協議会

浜松市社会福祉事業団  
浜松市発達医療総合福祉センター 相談支援事業所シグナル



## 浜松市医療的ケア児等コーディネーター業務

### 相談

ご本人ご家族、支援者からの相談に対応します。おひとりおひとりに合わせてサービスなど調整します。

### 名簿管理

浜松市内の医療的ケア児者の名簿を作成します。名簿をもとに災害時支援に役立てます。

### 災害時支援

「災害時個別支援計画」の作成を推進します。必要な物資の供給体制などを構築します。

### 意見交換

当事者団体との情報共有、意見交換をします。いただいたご意見を協議会等へ報告していきます。

### 研修企画

医療的ケア児等の支援者研修会を開催します。専門性やサービスの質の向上につなげます。

### 協議会運営

医療的ケア児等支援協議会を開催します。必要なサービス・支援などを検討します。



# 相談業務

## 相談対象者

実人数50人(前年度比+10人)

〈内訳〉新規32人、前年度からの継続18人

令和4年度終了21人(前年度比+2人)

〈終了内訳〉

死去3人、計画相談へ引継ぎ12人、終結5人、委託へ引継ぎ1人

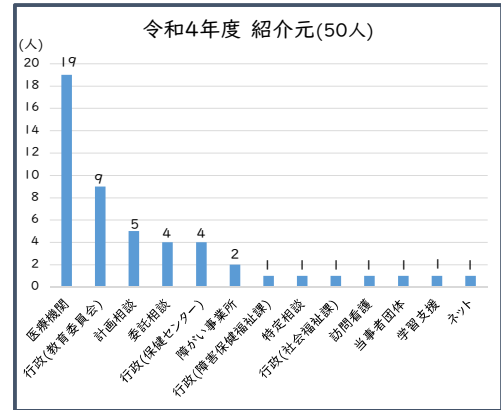
## 本人家族からの相談

実人数22人(前年度比+8人)延べ件数146件(昨年比+65件)

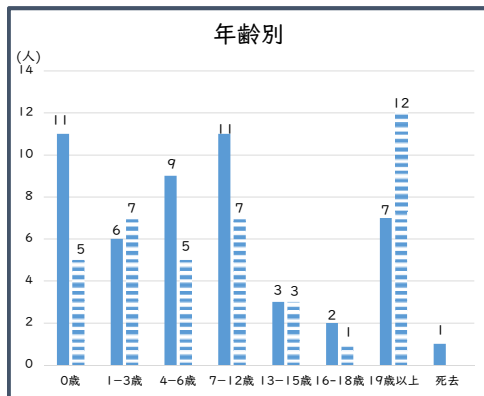
## 関係機関からの相談

実人数44人(前年度比+7人)延べ人数263件(昨年比+91件)

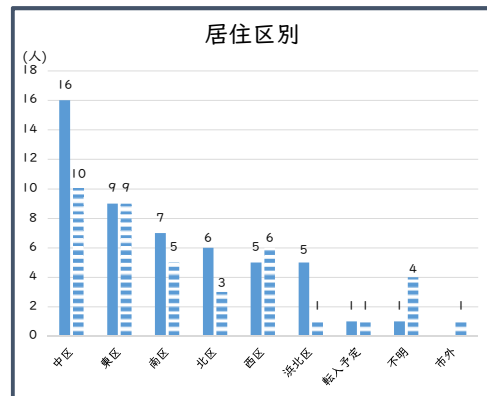
(関係機関からの相談、本人家族からの相談両方からのケース16人)



# 相談対象者



令和4年度(50人)  
令和3年度(40人)

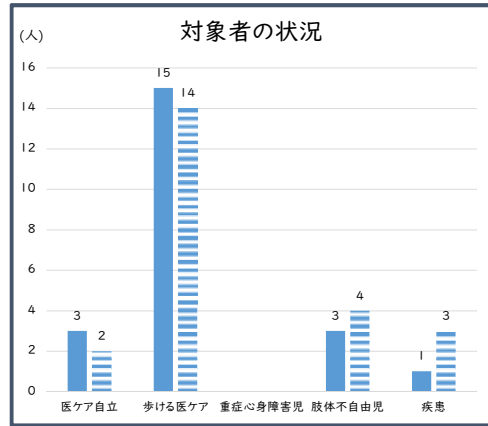
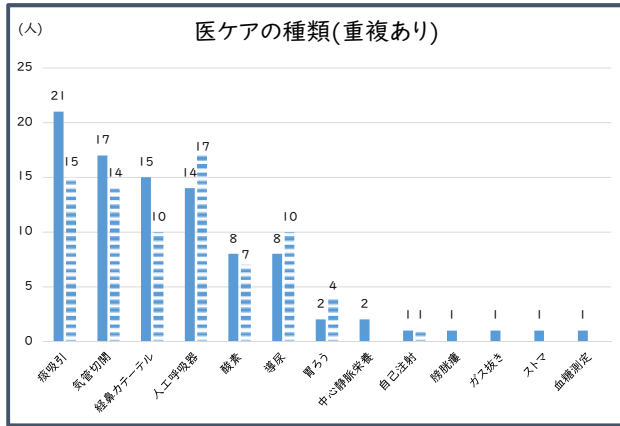


## 令和4年度(2022年)年齢割合

未就園児17人(34%)  
未就学児26人(52%)  
就学年齢16人(32%)  
19歳以上7人(14%)



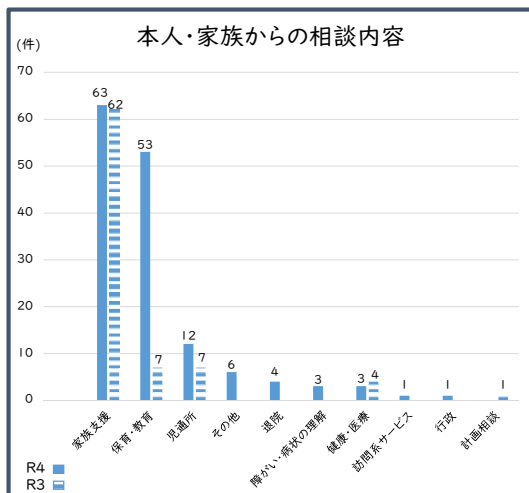
# 相談対象者



令和4年度(50人) ■  
令和3年度(40人) ▨



# 相談内容 ~本人・家族から~

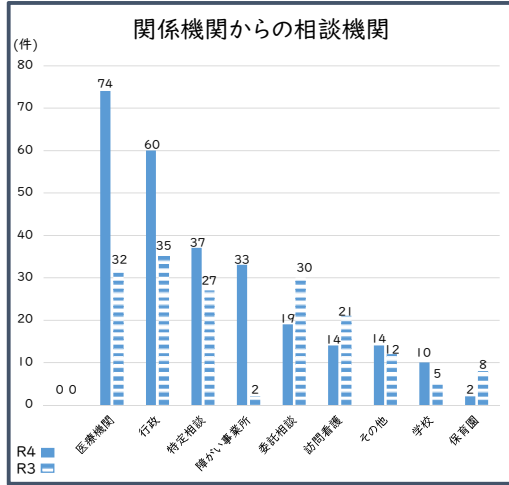


## 相談例

- 〈家族支援〉  
両親(介護者)の体調、訪問診療・看護・リハビリ希望  
きょうだい支援の活動、お子さまを亡くされた家族支援
- 〈保育・教育・児通所〉  
母の仕事復帰に伴う医ケア児やきょうだいの保育  
児童発達支援事業所、幼稚園、保育園、こども園の入園  
小学校入学における学校や学童の相談  
園や学校での活動内容や参加方法、医ケアへの対応  
医療的ケア児の病後児保育、医療的ケア児のバス通学
- 〈退院〉  
退院後の具体的な生活や育児、生活支援
- 〈その他〉  
高校卒業後の進路、医ケア児者の外出や移動時の支援  
医ケア区分判定における書類準備



## 相談内容 ～関係機関から～



### 相談機関

#### 〈医療機関〉

聖隷浜松病院、浜松医療センター、友愛のさと診療所  
遠州病院、坂の上診療所

#### 〈行政〉

浜松市教育委員会、健康づくり課(保健センター)  
障害保健福祉課、社会福祉課、幼児教育・保育課

#### 〈障がい事業所〉

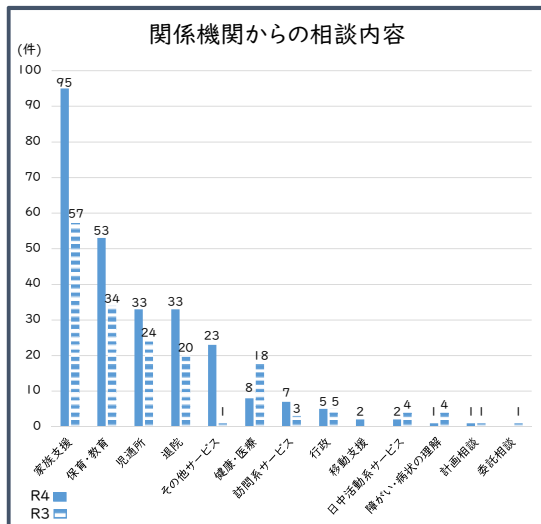
就労支援事業所、放課後等デイサービス、日中一時支援事業所  
児童発達支援事業所

#### 〈その他〉

親の会、ハローワーク、県内圏域スーパーバイザー  
浜松市議会議員、通訳等



## 相談内容 ～関係機関から～



### 相談例

#### 〈家族支援〉

家族背景に合わせた生活支援、ご家族の想いに寄り添う支援  
家族生活の見守り支援、災害時個別支援計画

#### 〈保育・教育・児通所〉

母の仕事復帰に伴う医ケア児やきょうだいの日中の居場所  
小学校入学における学校や学童の相談  
医療的ケアが自立したお子さんへの学校対応や家族支援  
園や学校での活動内容や活動への参加方法

#### 〈退院〉

退院前カンファに参加し、医ケア児者の把握  
退院後の具体的な生活や育児、生活支援

#### 〈その他〉

高校卒業後の進路(一般就労、就労移行支援含む)  
短期入所・レスパイト入院・緊急時対応事業、入浴支援等



## 名簿管理

- 名簿管理

新規	10件
更新	6件

- 医療的ケア児等全数把握調査について  
情報提供同意者数:1,563人(R5.5.31時点)

年齢	実人数
0-2歳	12
3-6歳	36
7-17歳	92
18-64歳	423
65歳以上	1,000



## 災害ワーキング

災害ワーキング 全9回参加(R4.5月~R5.2月)

目的:日常的に医療を必要とする人たちの災害時の支援について検討

活動内容:各施設における災害時計画について  
災害時個別支援計画について  
安否確認システムについて  
災害時の医療との連携について  
内閣府防災訓練参加に向けて(R4.10.1)  
医療的ケア児等大規模地震訓練実施

課題:安否確認システムの活用整備を進める  
安否確認の連絡方法の調整  
SOSの振り分け方の指標、支援の必要性の優先順位の取り決め  
災害時の受け入れ場所、場所への移動方法の確保の整備





## 当事者家族との意見交換会

日付	参加者	参加人数	テーマ
12月5日	当事者家族	5	最近の気になること
1月5日	まもる会	2	入所者本人・家族の想い
3月10日	当事者家族	6	日常生活を送る上で困っていることについて

### 〈要望〉

特別支援学校医ケア待機期間が長い、医ケア児は通学バス・通園バスに乗ることができない  
 放デイ・生活介護・短期入所の事業所が少なく特に西区南区に少ない、特別支援学校高等部の実習先も少ない  
 生活介護での入浴希望が多いため、希望どおりに利用できない  
 災害時の情報がキャッチしにくい、災害時の情報を知りたい場合、土日夜間含めてどこに連絡できるか知りたい  
 成人移行時に、小児科から内科への医療機関の移行に不安がある  
 在宅で医療的ケアができるサービス・支援スタッフが少ない  
 医ケア児は法律も制定されたが、医ケア者へ移行後の支援にも力を注いでほしい

### 〈意見〉

コロナ禍での面会制限や利用制限があり、感染症対策で大変な中での事業所職員への感謝  
 訪問診療や訪問看護、訪問リハビリなどの在宅医療が充実したことへの感謝



## 浜松市医療的ケア児等支援者養成研修

令和4年度 看護・保健・福祉・教育・保育分野合同  
 浜松市医療的ケア児等支援者養成研修

医療技術の進歩に伴い、医療的ケアが必要な医療的ケア児等が増加しています。医療的ケア児等及びその家族の生活を支援するため、研修を開催いたします。

医療的ケア児者は医療、看護、福祉、保育、学校、就労、在宅等において幅広い支援が必要となります。他分野の支援者が集がり、医療的ケア児者とその家族の理解につながるような研修を企画しました。実際の医療的ケア児者への支援内容を知る機会となり、現場の支援に生かしていただけるような研修となっております。ご参加お待ちしております。

**日時**  
 ①令和4年10月20日(木) 13:00-16:00  
 ②令和4年10月26日(水) 13:30-16:00  
 ③令和4年11月9日(水) 13:30-16:00

**対象者**  
 ①令和4年10月20日(木)全職種  
 ②令和4年10月26日(水)児童に関する職種  
 ③令和4年11月9日(水)成人に関する職種  
 希望があれば上記以外の職種も可能です

**相談員、支援員、保育士、幼稚園教諭、看護師、教員、養護教諭、行政職員(保健師、社会福祉課職員)等**

**開催方法**  
 ZOOMによるオンライン研修 または  
 来所(会場:福祉交流センター)研修

**申し込み**  
 令和4年9月30日までに下記専用フォームまたは  
 QRコードより申込

令和4年度浜松市医療的ケア児等支援者養成研修

〈研修内容〉

日程	テーマ	研修内容	講師
10月20日(木)	医療的ケア児とは？	医療的ケア児とは？ 発作への対応	小児科医師
	医療的ケア児とは？	医療的ケア児等 コーディネーターとは？	医療的ケア児等 コーディネーター
	医療的ケア児の看護の実態	医療的ケア児の看護の実態	専門看護師
	医療的ケア児の生活	医療的ケア児の生活	当事者家族
10月26日(水)	児童期の医療的ケア児を知り 支援を考えよう	児童期事業所の紹介 実践発表	児童発達支援、 放課後等デイサービス、 保育園、短期入所等
	医療的ケア児支援の シンポジウム	基幹相談、当事者家族、 事業所担当者、医療的 ケア児等コーディネーター	
11月9日(水)	成人期の医療的ケア児を知り 支援を考えよう	医療的ケア児の生活	当事者家族
	成人期事業所の紹介 実践発表	生活介護、就労支援等	
	医療的ケア児支援の シンポジウム	基幹相談、当事者家族、 事業所担当者、医療的 ケア児等コーディネーター	

1講座のみの受講も可能です

〈問合せ〉浜松市役所 障害保健福祉課  
 TEL053-457-2864 FAX053-457-2630  
 メール syoguhuku@city.hamamatsu.shizuoka.jp

参加者  
 10月20日 100名  
 10月26日 79名  
 11月9日 36名





# 看護師繋がろう研修

令和4年度 浜松市医療的ケア児等コーディネーター研修  
“お互いの看護を知って繋がろう”  
～NICU・訪問・療育・学校の看護を通して～

子どもや家族背景を知ること、各ライフステージのみならずお子さんの今までの育ちで関わってきた看護師それぞれが各分野の看護と繋がることにより、一人の子どもと家族を理解し、のりしろをつなげていけるような研修を企画しました。ご参加お待ちしております。



参加費無料  
先着50名様  
(事前予約制)

日程：令和4年7月25日(月)  
13:40-17:00  
会場：ZOOMオンラインまたは来所  
浜松市発達医療センター ホール  
(浜松市浜北区高園775-1)

対象者：浜松市内で医療的ケア児に関わる看護師

- NICU看護師、訪問看護師、児童発達支援看護師、学校看護師、放課後等デイサービス看護師から各分野の看護の紹介
- シンポジウム形式での質疑応答等

お申し込みは  
Googleフォーム  
申込期間：6月6日(月)～  
<https://forms.gle/wbEDGqFMU8TJHC8>



お問い合わせ先：浜松市発達医療総合福祉センター 相談支援事業所 シグナル  
TEL:053-586-8804 提出：阿部

参加者45名

アンケート回収31名(回収率69%)

## 〈感想〉

- ・医ケアの子達と関わるいろいろな立場の方の話が聞いて良かった
- ・普段接せることのない、それぞれの分野でどのような活動をしているのかよく知ることができた
- ・名前は聞いたことがあっても、どんな施設なのか分からなかったので、知ることができてわかりやすかった
- ・それぞれの分野で看護の方法や関わり方の難しさなど、違う視点での話が聞いてよかった
- ・多くの人が1人の医療的ケア児にかかわっている事がわかったが、それぞれの情報共有の必要性を感じた
- ・児のライフステージに沿った看護の関わり方の流れが理解できた



# 主催した会議

- ・浜松市医療的ケア児等支援協議会
- ・浜松市医療的ケア児等支援者養成研修
- ・医療的ケア児等の家族との意見交換会
- ・看護師の繋がりを考える会議
- ・薬局との意見交換

# 参加した会議

- ・浜松市災害ワーキング
- ・浜北天竜エリア連絡会課題部会
- ・西部地区特別支援学校進路担当の先生と相談支援事業の意見交換会
- ・教育委員会浜松市医療的ケア運営協議会
- ・校内医療的安全委員会(2校)、佐鳴台保育園安全委員会
- ・自立支援協議会企画会議
- ・静岡県医ケアコーディネーターとの意見交換会、静岡県医ケア支援ネットワーク会議
- ・静岡県MSW協会西部地区研究会



## 令和5年度(2023年度)の活動計画

### 災害時 支援

- ・災害ワーキングの参加を通して、災害時支援体制の再検討の実施
- ・災害時個別支援計画の見直し、医ケア児者全数把握のため関係機関連携の強化

### 養成 研修

- ・浜松市医療的ケア児等支援者養成研修 「医ケア児者の受け入れの裾野を広げよう」
- ・看護師繋がろう研修 「家族と看護で繋がろう」～ライフステージからみえる家族の想いと支援～
- ・浜松市立看護学校 社会福祉学講義
- ・浜松市教育委員会コラボ研修(予定)

### 意見 交換

- ・当事者家族との意見交換会 セミナー型講義を通じた意見交換(予定)+市主催の意見交換会
- ・静岡県医ケアセンターの出張相談時に当事者家族より意見を伺う相談会の実施

### 県との つながり

- ・静岡県医ケアセンターとの関係づくり
- ・静岡市医療的ケア児等コーディネータとの情報交換
- ・浜松市内の医療的ケア児等コーディネーター養成研修終了者との繋がりづくり



### 医療的ケア児等情報提供同意者数について

1. 対象者

浜松市在住、在宅で生活している医療的ケア児者

2. 情報提供同意者数

1,563 人 (R5.5.31 時点)

3. 内訳 (R5. 5. 31 現在)

年齢	実人数	医療的ケア内容 (延人数)							
		人工呼吸器	在宅酸素	吸引	気管切開	導尿	輸液ポンプ	経管栄養	透析
0～2 歳	12	4	8	7	4	1	1	8	0
3～6 歳	36	7	14	19	5	0	0	23	0
7～17 歳	92	22	35	56	14	6	1	55	0
18～64 歳	423	52	59	74	24	12	6	56	252
65 歳以上	1,000	19	188	54	23	3	1	18	656
計	1,563	104	304	210	70	22	9	160	908

※上記以外の医療的ケア:インシュリン注射、吸入、ストマ、在宅持続陽圧呼吸療法等

4. 新規ケース把握について

- ・ 特定相談支援事業所が対象者を把握した際、案内チラシ等を配布
- ・ 市内訪問看護ステーションへの「訪問看護の情報提供書」提供依頼継続
- ・ 各区社会福祉課にて手帳や医療等に関する手続きの際、対象者へ案内チラシ等を配布

5. 令和4年度情報提供書兼同意書受付状況

新規：10 件

更新：6 件

令和 5 年度情報提供書兼同意書受付状況 (R5. 5. 31 時点)

新規： 2 件

更新： 1 件

## 令和4年度医療的ケア児を持つ保護者への意見を伺う会

作成：浜松市医療的ケア児等コーディネーター

開催日時	令和5年3月10日(金) 午前10時00分～午前11時45分
開催場所	浜松市役所 会議室 (Zoomを使ったWeb開催)
出席者	ZOOM参加 5名、傍聴 1名 (医療的ケア児者、重心児者の保護者6名) 事務局 障害保健福祉課 3名、浜松市医療的ケア児等コーディネーター2名
プログラム	① 障害保健福祉課長より挨拶 ② 自己紹介 ③ 意見交換 ・日常生活を送る上で困っていることについて ・災害時対応の取り組み報告からの意見交換 ・意見を伺う会の周知方法について
内容	1 障害保健福祉課長挨拶 2 自己紹介 3 意見交換会 ○日常生活を送る上で困っていることについて ＜ご意見＞ ・バギーや車いすの申請にかなり時間がかかる。長いと半年以上かかる。原因はどこにあるのか？ ⇒(事務局)体に適合して作成されるもののため、医師への確認や調整に時間がかかっている現状。区の社会福祉課への問い合わせで、進捗状況を確認いただける。 ・日常生活用具補助(ベッド、エアマット)は料金が高額になってきており、補助額の見直しを希望したい。 ⇒(事務局)浜松市の補助金額は静岡県が出している料金を参考に補助額が決定している。県が金額の見直しを検討中のため、結果を受けて浜松市が検討に入る予定。 ・訪問入浴業者からリフトを購入してもらえないか？と提案されることがある。医療保険はレンタルが難しく、事業所に用意いただけないのか？ ⇒(事務局)介護保険だとリースできるが、障害のある方は、万人が使えるものでは利用が難しく、体に合ったものを使えるよう購入をお願いしている現状。 ・本人名義のカードは本人が書けないから作成できずに困っている。ETCカードやマイナンバーカードをスムーズに作れずに困っている方がいる。 ⇒(事務局)初めて知ったため、状況確認していく。 ⇒(事務局)成年後見制度の利用をすることで解決していくことも可能。 ⇒(保護者)後見人の話は知っているが、後見人立ててない人が多い。保護者というだけでカード作成が進めることができると助かる。

⇒(保護者)ETCカードは、家族カードだとすんなり申請通った人もいる。

- ・コロナが3年に及んでとても大変な状況でした。コロナから子どもを守るためとはいえ、在宅の方も入所の方や職員も大変な状況です。入所中も職員が感染時にマンパワーの制限がかかるため、入所に制限がかかっていた。入所施設ではコロナの影響がまだまだ大きい。短期入所利用時は利用当初に逆隔離が必要な状況。入所施設内も、利用できる場所がその分狭くなり、自由に部屋から出られない状況になっている。

5類になった時にどのようになるか不明。コロナ感染予防対応は事業所だけの判断で良いのか？行政としての判断も含めることが必要では？短期入所の枠を広げてほしい。在宅生活を支えるために短期入所が必要だが利用できる場所がコロナでより少ない。ショートステイの場所は安心して預けられる場所であり、安全性を保てる場所で、どこでもよいわけではない。

⇒(事務局)施設側の職員体制もクラスターなどの対応でショート先の確保が難しい状況であると聞いている。欠席者加算は短期入所事業所にはない事情もあると考えられます。

- ・今日空きがでたけどどうですか？は重度の方の短期入所の利用方法としては難しい。予定を組み立てないと厳しい。事業所としては空きベッドも考えると枠を広げるのは厳しいと考えているのではないかな？

⇒(事務局)利用事業所が広がらないのは医療への対応が難しいところも考えられる。一般の事業所では対応が難しいと考えられます。

- ・急な冠婚葬祭などでも預け先がないと聞いている。緊急時の場所の確保については、計画相談からも緊急時対応事業所の提案をしてほしい。市として利用できるガイドラインを作成いただきたい。

⇒(事務局)市としても、緊急時に利用できる事業所がない現状に危機感を感じており、医ケア協議会でも緊急時登録事業について取り扱っている。基幹、医ケア児等コーディネーターも含め検討を進めています。やはり、知らないところだと緊急時でも安心感はなく利用には繋がりにくいのでしょうか？

⇒(保護者)やはり普段の様子をわからない場所だと、緊張も強く、いつもと対応が違うと熱もこもりやすい子、空いていてもお願いはしないと思う。

⇒(保護者)うちもショートステイの契約はしているが、何度チャレンジしても慣れないため利用していない。単身赴任の状況下で母が倒れた際、主治医の病院に入院扱いで1-2泊はいいよと言われているが、普段は入院中も母が対応しているため、病院の看護師さんも知らないことも多いから緊急時は、すぎるしかないと思っている。

⇒(保護者)うちは、子どもの体調変化で短期入所の利用からより離れてしまっているが、ヘルパー、訪問看護、訪問歯科、訪問診療、訪問リハ来てもらって支えてもらっています。

⇒(保護者)うちは、ショートステイはつばさ静岡のみ。医療ケアの内容や食事のケアの内容で断られてしまって利用できず、普段は学校と放課後デイの利用のみです。

⇒(事務局)短期入所の課題を再認識させていただいております。

○災害時対応の取り組み報告

- ・災害ワーキング
- ・R4年10月1日の大規模訓練実施の報告
- ・発災時の医ケア児等の支援枠組みの検討
- ・医ケア児全数把握の実施と安否確認システムの整備
- ・災害時支援側整備の検討

<ご意見>

・西部特別支援学校退職後の先生が有志で作られた防災訓練に参加し南区福祉施設解説訓練について聞くことができた。かなり緊迫した訓練を実施し、専門家でないからトリアージが難しいことや、電源確保が厳しいこと、できればQRコード化で個人情報が見られるとよいことなどの話を聞くことができた。ほぼ自宅避難だと思うが、福祉避難所の避難訓練の体験できたらと思う。

⇒(事務局)そこが必要だと感じている。移動支援も必要だと感じている。災害時、道は通ることができるのか?初見の方の支援の難しさも予想できる。みらいTALKの訓練と一緒に参加するなど含めて災害ワーキングでつめていきたいと考えています。

○意見を伺う会の周知方法について

より多くの方に参加いただける周知方法の相談

<ご意見>

・安否確認システムを使って、練習も含めてご案内を周知してほしい。返信も練習になると思う。

⇒(事務局)現在登録が96人のみ。この方々への周知は可能。

・特別支援学校は医ケア児の保護者のグループLINEは作っているのか?

⇒(保護者)グループLINEはあるが、今回、反応が薄かった。医ケア待機があった時は他の医ケア児保護者と顔を合わせていたが、今はすっかり顔を合わす機会が減っています。ZOOMは知らない人ばかりだと入りにくさもあるとの意見も聞きました。

⇒(保護者)今日は浜北特支高等部卒業式。学校行事と重なると出られないと思う。締め切りまでの期間も短かった。

⇒(事務局)周知の期間はどのくらいあればよいか?

⇒(保護者)働いている母も多く、1か月以上前に教えてもらいたい。

⇒(保護者)10時開催が送迎も含めて厳しい。10:30~開始が良いのでは。

⇒(事務局)今後の周知は1か月以上前より周知を徹底する。安否確認システムは登録人数も少なく今後も検討は続けるが、来年度は団体方への周知+安否確認システムの利用を検討する。

備考

## 医療的ケア児等災害ワーキング

### 1. 目的

日常的に医療を必要とする人たちの災害時の支援について検討する

### 2. 開催期間

令和5年6月～令和6年3月頃（予定）

### 3. 構成員

大木 茂（聖隷こども家庭総合支援センター）、杉浦 弘（聖隷浜松病院）、  
遠藤 雄策（はままつ友愛のさと診療所）、尾田 優美子（訪問看護ステーション連絡協議会）、  
河合 希代美（訪問看護ステーション連絡協議会）、雨宮 寛（浜松市障がい者基幹支援センター）、  
篠ヶ瀬 信行（聖隷おおぞら療育センター）、大柳豆 勇太（浜北・天竜障がい者相談支援センター）、  
稲川 秀子（学校教育部指導課）、仲山 智士（消防局警防課）、  
小笠原 光峰（消防局警防課消防航空隊）、室井 大（消防局警防課消防航空隊）  
（事務局）

阿部 祥美（医療的ケア児等コーディネーター）、尾関 ゆかり（相談支援事業所シグナル）  
柴田 多美子（障害保健福祉課）、中谷 麻由実（障害保健福祉課）

### 4. 活動内容

＜第1回：令和5年6月16日＞

- ・消防局警防課の参加経緯について
- ・災害時支援体制の再検討について
- ・自助の周知について
- ・情報提供書兼同意書、及び災害時個別支援計画について
- ・防災訓練（9月3日日曜日開催）について

⇒浜松市の医療的ケア児を模擬患者のシナリオとして訓練に参加。

【現在検討している訓練方法】

- i) 安否確認システムを稼働させ、安否情報を集約する。
- ii) 被災による外傷のある医ケアの方についての支援を行う。

### 5. 今後の活動

第2回（令和5年9月1日予定）

- ・自助の周知の方法検討。
- ・情報提供書兼同意書、及び災害時個別支援計画の記載内容見直し。
- ・災害時、安否確認システム一斉送信を介さない方法でのSOS対応イメージ検討



令和5年度 浜松市医療的ケア児等支援者養成研修  
—医療的ケア児等を理解し、実際の支援の場を知ろう— (案)

1. 目的

医療技術の進歩に伴いNICU等に入院した後、退院後も引き続き人工呼吸器や胃ろう等を使用し、痰吸引や経管栄養などの医療的ケアが必要な医療的ケア児等が増加しています。こうした状況を踏まえ、医療的ケア児等の健やかな成長を図り、医療的ケア児等及びその家族の生活を支援するため、地域での人材育成の場が必要であると考えられます。

医療、看護、福祉分野のみならず、保育、学校、就労、在宅等において幅広い支援が必要であることから、他分野の支援者が繋がり、医療的ケア児者とその家族の理解につなげる必要があります。実際の医療的ケア児者への支援内容を知ること、医療的ケア児者の受け入れの裾野を広げることにつながることも期待し、研修を実施します。

2. 受講対象者

- ・障がい者相談支援センター相談員
- ・相談支援事業所相談員
- ・福祉事業所職員(支援員、保育士、看護師等)
- ・訪問看護ステーション看護師
- ・教育関係者(教員、養護教諭、幼稚園教諭等)
- ・保育園保育士
- ・区健康づくり課保健師
- ・区社会福祉課職員

3. 開催日時

令和5年10月26日(木)13:30～16:00

令和5年11～12月 日程未定 施設見学ツアー

4. 開催方法

令和5年10月26日(木)集合研修 (会場:浜松市勤労会館Uホール23会議室)

施設見学は各事業所にて

5. 研修内容

10/26(木) 医療的ケア児等とは概論、医療的ケアの実際

施設見学